

全財務局 管内経済情勢報告

	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回との 基調比較	全局総括判断の要点
全局総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡	個人消費は、感染拡大の影響により、サービス消費で弱さがみられるなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかにになっている。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、幅広い業種で改善しており、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
財務局名	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回との 基調比較	各財務局の総括判断の要点
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるなか、観光が弱まっており、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	⬅	個人消費は、感染症再拡大に伴う自粛の影響がみられるものの、スーパー販売や家電販売が堅調に推移しており、総じてみれば持ち直しの動きが続いている。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱まっている。
東北	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、電子部品・デバイスが自動車向けなどで好調となっているほか、輸送機械が需要回復等により受注増となっているなど、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
関東	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	⬅	個人消費は、スーパー販売額、ドラッグストア販売額が前年を上回っているものの、宿泊や飲食サービスが足下で弱まっているなど、感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、生産用機械、輸送機械、電気機械が増加しているなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
北陸	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況が続いているものの、一部では緩やかに持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡	個人消費は、ドラッグストア販売、ホームセンター販売が順調となっており、家電大型専門店販売は緩やかに回復しつつある。また、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直しつつあるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが持ち直しており、化学が拡大しているほか、生産用機械、金属製品が下げ止まっていることなどから、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている。
東海	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している</u>	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、 <u>一部に厳しい状況があるものの、持ち直している</u>	➡	生産活動は自動車関連産業を中心に緩やかに回復している一方、個人消費は感染拡大の影響により、サービス消費を中心に減少し、持ち直しの動きに一感感がみられる。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。
近畿	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡	個人消費は、感染症の再拡大の影響により、旅行取扱いなど一部に弱さがみられるなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、汎用・業務用機械や輸送機械等が上昇しているなど持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により弱い動きとなっている。
中国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きが続いている</u>	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、ドラッグストア販売やホームセンター販売が好調であるなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、輸送機械や鉄鋼が増加しているなど、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱まっている。
四国	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある</u>	➡	個人消費は、観光等が足下で急速に弱まっているものの、スーパーが堅調であるほか、家電大型専門店等が順調となっていることから、全体としては感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、輸送機械が弱い動きとなっているものの、窯業・土石が持ち直しつつあるほか、電気機械で緩やかに持ち直しつつあることから、全体としては下げ止まっている。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
九州	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	⬅	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店・スーパー販売が前年を下回り、宿泊客数が厳しい状況となっているなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率が横ばいで推移しているなど、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きとなっている。
福岡	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>	➡	個人消費は、百貨店販売で新型コロナウイルス感染症再拡大による来店客数の減少により前年を下回っているなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、自動車向けを中心に持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、弱い動きとなっている。
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u>	⬅	個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が減少するなど、感染症の影響がみられるものの、食料品が引き続き堅調に推移するなど、持ち直しの動きがみられる。観光は、入域観光客数が大幅に減少するなど、感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、足下では急速に弱まっている。雇用情勢は、有効求人倍率などに下げ止まりの動きがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

(注) ※ 令和3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。
※ 下線部が基調判断。